

第1回

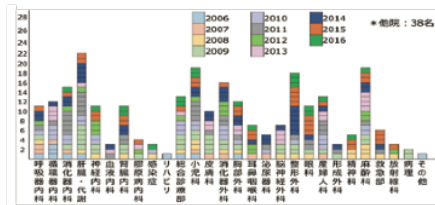
薬剤耐性 (AMR) 対策普及啓発活動表彰

厚生労働大臣賞

卒後初期の感染症診療・教育による
抗菌薬適正使用の実践・啓発の10年に及ぶ取り組み

佐賀大学医学部附属病院 感染制御部

初期研修医に対し、発熱の鑑別診断による抗菌薬要否判断、初期抗菌薬の適正な選択、投与終了の可否判断等を教育し、抗菌薬治療に関する基本的臨床能力を育成。研修を受けた医師が病院内に広く配置され、病院全体の感染対策、薬剤耐性対策に関する意識が向上している。



当院の菌血症診療に関するクリニカルインディケーター
佐賀大学医学部附属病院 (1997~2015)

項目	1997/1~ (17例)	2004/1~ (12例)	2005/5~ (12例)	2009/1~ (12例)	2012/1~ (12例)	2014/1~ (12例)	2015/1~ (12例)
① 症例数 (1000患者・日 あたり)	73例	149例	169例	239例	286例	236例	272例
② 菌血症例 (1000患者・日 あたり)	0.26 (31.5%)	0.75 (23.5%)	0.87 (21.9%)	1.26 (21.9%)	1.44 (19.6%)	1.27 (16.9%)	1.48 (18.8%)
③ 菌血症例 20日以内の 死亡率(%)	25/73 (34.2%)	35/149 (8.0%)	37/169 (15.4%)	37/239 (8.7%)	56/286 (14.7%)	40/236 (14.6%)	51/272 (18.0%)

毎朝、前日のコンサルテーション事例について 研修医および学生を交えてティーチング ラウンドを実施

- 上 感染症診療の基本を学んだ医師が各専門科に所属
- 下 重症例の多い菌血症患者の生命予後が改善